

「分野別の都市像」と施策体系の良い点と改善点について、グループに分かれて意見交換を行っていただきます。新たな実行計画を策定する上で、重視すべき点や追加すべき点などをお考えください。

【意見交換の流れ】個人検討（10分間）→グループでの意見交換（一つ目の分野：20分間、二つ目の分野：20分間、その他全体：10分間）→全体共有（15分間）

【お願い】ご意見がありましたら、可能であれば具体的な修正案をいただくと幸いです。

例：分野別の都市像「●●」については、昨今の社会情勢を踏まえると、△△の部分に■■を追記した方が、重視する政策がより明確になると思う。

■ 「分野別の都市像」と施策体系について（1分野目）

1 「分野別の都市像」の良い点（重視すべき点、施策項目の妥当性、分かりやすさ・伝わりやすさ等）

2 「分野別の都市像」の改善点（追加すべき点、施策項目の妥当性、分かりやすさ・伝わりやすさ等）

■ 「分野別の都市像」と施策体系について（2分野目）

1 「分野別の都市像」の良い点（重視すべき点、施策項目の妥当性、分かりやすさ・伝わりやすさ等）

2 「分野別の都市像」の改善点（追加すべき点、施策項目の妥当性、分かりやすさ・伝わりやすさ等）

■ 「分野別の都市像」と施策体系の全体を通して気が付いた点

【参考：新たな「分野別の都市像」】

未来のまちの姿『歴史をつなぎ 未来をひらく 個性がひかり輝くまち』を実現するために、次の五つの都市像を定めます。

「公共経営」の都市像が、その他の各都市像の基盤となることで、効果的かつ効率的に各分野の施策を推進していきます。

①子どもを育み、学びが繋がるまち
(子ども・学び)

・まちの未来を担う子どもたちが健やかに成長していくためには、切れ目のない子育て支援、教育環境の整備、一人一人の特性に合った居場所づくりなど、地域全体で子育て・子育てを支えることが重要です。学びのつながりを通じた自己実現は、人生の豊かさだけでなく、まちの活性化にもつながる大切な要素です。子どもたちが理想の未来を思い描きながら、その実現に向けて進むことができるまちを目指します。

②活気あふれる成長のまち
(文化・地域づくり)

・活気があるまちを実現するためには、国分寺ならではの歴史、文化、都市農業といったまちの個性を、多様な主体が関わり合いながら受け継ぎ、新たなアイデアや価値を創出し、広く発信していくことが重要です。市・市民・事業者等が一体となった地域づくりは、地域課題の解決に向けた原動力にもつながります。国分寺の良さを受け継ぎ、高めることができる、未来にわたって活気にあふれる成長のまちを目指します。

③自分らしくいきいき暮らせるまち
(共生社会・健康・福祉)

・すべての人が自分らしく、また、健康に暮らせる地域をつくるためには、子どもから高齢者まで、障害のある人もない人も、国籍や性別を超えて、お互いを尊重し、一人一人の個性を認め合うことが重要です。国分寺に暮らす人たちの様々な価値観が繋がることで、人もまちも更に輝いていきます。共生社会の実現に向けて、人と人がつながり互いに支え合い、みんなが自分らしくいきいきと暮らせるまちを目指します。

④安全・安心で快適なまち
(都市環境・安全・安心)

・将来にわたって住み続けられるまちを実現するためには、利便性が高く強靱（じん）なインフラや、人々の憩いの場となる公園・緑地の整備、地域の安全性の向上が重要です。都市基盤と環境を整備することで、学びや文化活動、経済活動が活性化し、まちの発展にもつながります。ハードとソフトの両面で、すべての人が安全・安心で快適に生活できるまちを目指します。

⑤未来につながる持続可能なまち
(公共経営)

・どんな社会環境の変化にもしなやかに対応するためには、行政改革や公共施設マネジメントなどの堅実な行財政運営が重要です。さらに、デジタル化や脱炭素の推進をはじめとする新たな技術やアイデアを取り入れた施策を展開することで、その効果は他の分野にも波及していきます。変化に適応し、持続可能なまちづくりを進めることで、これまでの国分寺の歴史を受け継ぎ、価値を高めて未来へとつなげることができるまちを目指します。

※現行の「未来のまちの姿」は、タブレットに格納しています。